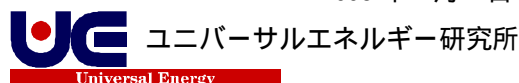


ルノー・日産、イスラエルで電気自動車の普及事業を展開

2008年7月2日



2008年 1月21日

仏ルノーと日産自動車は、ルノー・日産アライアンスと、イスラエルの投資家シャイ・アガシ (Shai Agassi) 氏が設立し環境インフラに特化したアメリカのベンチャー企業「プロジェクト・ベター・プレイス社」と共同で、イスラエルで電気自動車量販の仕組みを整える取り組みを開始すると発表した。この取り組みは交通インフラを再生可能エネルギーに移行したいというイスラエル政府の要請に応えるもの。自動車業界とそのサプライチェーンが取り組むもの。電気自動車の量販成功に向けての必要な条件が、イスラエルでのルノー、日産、プロジェクト・ベター・プレイス社間の提携で初めて揃うとしている。

ルノーはリチウムイオン電池を搭載し、1.6リッター・ガソリンエンジン車と同様の運転性能も備えた電気自動車を提供する。プロジェクト・ベター・プレイス社はイスラエル全土で50万基に及ぶ充電スタンドを建設、運営する。日産はNECとの合弁会社で開発するバッテリーパックを量産する。

ルノー・日産アライアンスによると、イスラエルで販売予定の電気自動車は100%電気だけで動き、CO2をまったく排出しない「ゼロ・エミッション」車両になるという。また、イスラエルでは、車両保有者のほとんどが1日当たり走行距離70km以下で、継続走行距離が短い電気自動車も利用しやすい環境にある。

電気自動車は2011年に利用可能となり、消費者は車両を購入・所有し、走行距離をベースに、バッテリーの使用量に応じた供給契約を行う。このビジネスモデルは、携帯電話を最初に購入し、月決めでサービス契約を行うスタイルと同様で、電気自動車の事業では初の試みとなる。

イスラエル政府は、ゼロエミッション車購入に対し、税制上の優遇措置実施を2019年まで延長する予定でいる。

2008年1月21日、イスラエルのエルサレム (Jerusalem) で、電気自動車展開で合意後に握手を交わす (左から) ベンチャー企業プロジェクト・ベター・プレイス (Project Better Place) のシャイ・アガシ (Shai Agassi) CEO、エフド・オルメルト (Ehud Olmert) イスラエル首相、ルノー・日産アライアンスのカルロス・ゴーン (Carlos Ghosn) 社長。



ルノー (Renault)・日産 (Nissan Motor) アライアンスとのイスラエルにおける電気自動車の事業展開合意に伴いイスラエルのベンチャー企業「プロジェクト・ベター・プレイス (Project Better Place)」が発表した新型電気自動車。 (c)AFP/ISRAEL HADARI



参考資料

日経エコロジー